

令和3年度

銚子市地域力創造アドバイザー業務

報告書（ダイジェスト版）

地域力創造アドバイザー 中川直洋

弥蔵舎株式会社

事業目的

本業務では、銚子市の観光・産業をはじめとする「まちづくり」「ひとづくり」に関する、事業内容の検討、準備を行う他地域や民間などで先行事例を参考に、銚子の地方創生事業に貢献するプログラムを開発する。

事業概要

① JAPAN CHALLENGER AWARDセミナー

- 日程：1月17日（月）、18日（火） 場所：銚子市役所会議室
- 講師：中川直洋 ゲスト：坂尾英彦（いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD グランプリ）
- 内容：地方起業の教科書をテキストに使い5つのステップ（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義。自分の事業アイデアを事業モデルにするワークショップを行いました。
- セミナー内容について
第1回 1月17日（月）12名
18:30 開講、事務連絡 18:35 講義（自己紹介） 19:00 地域起業家紹介
19:30 講義（基礎編）20:55 まとめ、事務連絡 21:00 終了
第2回 1月18日（火）12名8:30 事務連絡
18:35 講義 振り返り 19:00 各自事業プラン（ワーク） 20:50 まとめ、総括、事務連絡 21:00 終了

② JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子個別セッション

1月29日（土）から2月14日（月）まで個別のオンライン指導（ワンツーン）
発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回個別に指導した。

③ JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子



A) 企画内容

起業などの新事業の創出をサポートする市のプログラムです。地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを銚子市の皆様の前で発表します。発表された事業プランは、審査員の審査を受けてグランプリや準グランプリが選ばれます。受賞者には、チャレンジ支援金や事業のサポートの授与が予定されています。

B) 開催概要

- 場所 千葉科学大学 防災シミュレーションセンター（千葉県銚子市潮見市15-8）
- 日程：2022年2月20日（日）
- 主催：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子実行委員会
銚子市、銚子商工会議所、一般社団法人 銚子市観光協会、千葉県立銚子商業高等学校、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、千葉科学大学、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- サポート企業：ヤマサ醤油株式会社、銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合

銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック株式会社レイメイ藤井、Hamee株式会社 株式会社大和システムクリエイト 株式会社クレオ、株式会社アイサイト 弥盛舎株式会社 株式会社WOW WORLD NIPPON ITチャリティ駅伝

- 参加学校：千葉県立銚子商業高等学校
- 事務局：銚子市、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 司会：佐久間快枝、仲木威雄（ジャパンチャレンジャープロジェクト）

＊コロナ感染防止のため、一般参加は不参加

C) 発表者

<p>チャレンジャー1番 小野澤雅代</p> <p>20年後の懐かしい思い出の店 小野澤さんの事業プランは、「令和の時代にほっこりした光景を作りたくてこの焼き屋を開き、利益を出して、それを子供たち向けの安価なメニューに反映。子供たちに喜んでもらえるお店作りながら最終的には子供達が喜びイベントを開催したいです。親子で子育てしたいと思えるように、大人も子供も楽しく暮らせる銚子にしたいです。そのためにずっと店を続けていき、長く続くイベントを是非やりたいので皆さまのご協力よろしくお願ひいたします。」という発表でした。</p>  	<p>チャレンジャー2番 和田道也</p> <p>銚子から始まる産地ロス削減のサプライチェーン構築 和田さんの事業プランは、「産地ロス、フードロスの概念すらも無い街、そしてそれが無い理由は廃棄されるはずだった美味しい食材が新たな商品価値をもって流通し、当事業計画をもって肌えに高まっている子供たちに提供され《やさしいまちづくり》を推進したく存じます。子供たちが銚子で育ち、大人になって銚子で家族を持つ。そんなサイクルを銚子で確立させ全国へ水平展開出来れば《やさしいまち》から《やさしい国》になれる事を私は信じています。だからこそ成功しなければなりません。」という発表でした。</p>  
<p>チャレンジャー3 加瀬紗弥香 (準グランプリ)</p> <p>新しい婚活ビジネスの提案 銚子LOVE会の新設 加瀬さんの事業プランは、『「銚子LOVE会」の創設です。これは、定期的に會員が集まり、「銚子を愛にあふれた街にすること」を目的に活動を行う、独身者限定の社会人サークルです。この会の主な活動は2つです。一つ目は、市内の飲食店や観光地を案内し、その魅力をSNSなどで発信すること。二つ目は、会員同士の交流です。この二つの活動を通して、會員同士が出会い、少しずつ仲を深めてきます。そして、この事業を行うことで、銚子に行きたいと思う人、銚子に住みたいと思う人、銚子が大好きな人が増えることを目指し、たくさんの人に愛されるコミュニティにしていきたいです。』という発表でした。</p>  	<p>チャレンジャー4 望月瑛司</p> <p>心を洗うととの体験を「種(ごくと)と 望月さんの事業プランは、「種ととのコンセプトが、すべての人に種上の良い体験を、いつでも、どこでも、ひとりでも、デントサワナの新たな価値の創造である。銚子市でのデントサワナはローション的にすぐ良いと思えるので映えスポットとしての可能性も高くあると考えています。デントサワナが銚子の観光を促すと私は考えております。デントサワナはフィールドのついでに運営せしが、ぜひ協力いただけるまいらっしゃいましたら一緒に盛り上げていきたい」という発表でした。</p>  
<p>チャレンジャー6 若山みどり (グランプリ)</p> <p>銚子に健康な暮らしを！ウイルスに負けない免疫力を高める自然発酵食品 若山さんの事業プランは、『銚子の名物の醤油と米麹を発酵させた調味料を使用し体に優しい発酵カフェを開業計画。醤油麹は抗酸化作用、高血圧の予防、疲労回復、免疫力UP、アレルギーを抑制する効果、コレステロールを正常にする、胃腸の働きを助ける、腸内環境を整える、肌荒れの改善にも期待できる。腸内環境が整うことで免疫力が高まる。発酵カフェと隣接して酵素風呂を計画。身体を芯から温め、発汗作用を活発にし血行循環、リンパの流れを促し自然治癒力を高める。医療に頼らず、未来の銚子、自分たちのために健康づくりを心がけていきたい。』という発表でした。</p>  	

④ 地域起業家のサポート

令和3年11月から令和4年3月まで

過去に銚子で開催したアワード参加者のフォローアップをはじめ、インバウンド事業までを含めた地域起業家のサポートを行いました。

⑤ まちづくりワークショップ

12月25日(土) (銚子市まちづくりワークショップ)

- ・参加者16名(地元事業者)
- ・講師：柳澤大輔氏(面白法人カヤック社長)を招いて、面白法人カヤックが取り入れているプレスト会議を実施し

た。この活動はカマコンと呼ばれ、全国で展開しているが、銚子市で初めて開催した。

⑥ インバウンド向け観光ビジネスの助言

銚子市事業者・起業家への視察・助言（12月24日、1月18日）

銚子市内においてインバウンド向け観光ビジネスを促進していくため、地元の方々へのヒアリング、助言を行い、観光ビジネスにおけるインバウンド向けプログラムを計画しました。

⑦ インバウンド観光プログラム

令和4年3月17日（木）

犬吠埼温泉協議会等と連携して、銚子市オリジナルの観光プログラムを開発しました。

具体的には、「寿司握り体験プログラム」です。実際、寿司握り体験プログラムを行い、旅行会社と連携してガイドやランドオペレーターを招き、来るべきウイズコロナに向けて、営業できる仕組みを構築した。

銚子市アフターコロナに向けた、インバウンド事業策「極上-寿司握り体験」プロジェクト報告書

日程：令和4年3月17日（水） 13:00～15:00 場所：スパ&リゾート犬吠埼 太陽の里

今回の振り返り：企画した寿司握り体験プログラムについては、大手外食チェーンで実施した企画・スタッフメンバーを迎え実施した。寿司握り体験は、インバウンド向けとしてコロナ感染直前まで非常に人気があった。このプログラムは外食チェーンで開催した都市型（繁華街）での店内のみで実施してきたわけだが、今回、国内を代表する観光地である犬吠埼の景勝を見ながら寿司握り体験を行うことで、見事にマッチし、インバウンド向けの極上プランを開発することができた。

⑧ ふるさと納税商品開発

令和4年3月18日（金）

ふるさと納税額拡大のため、銚子市職員等を集めたミーティングを実施。

現在の銚子市のふるさと納税額は3億円程度。また一昨年に比べ減収となっており、課題である。その課題解決に、ふるさと納税の企画会社の「Hamme」の担当者招き、ふるさと納税拡大策の戦略会議を目的として、市職員に向けてミーティング（ワークショップ）を実施しました。

⑨ その他の活動(産官学プロジェクト)

令和4年3月18日（金）

銚子市と産官学プロジェクトとして、千葉県为学校法人淑徳大学が、新たに地方創生学部を創設するにあたり、拠点の一つとして銚子市を紹介。学部長と銚子を視察し、銚子市での誘致につなげました。

学生は、銚子市の観光など地域資源、文化、産業を学び、将来的には、ふるさと納税商品やまちづくりの提案をしていきます。

学びの場所の候補を選定しました。

地元、銚子商業高等学校を訪れ、大学生と高校生との交流、共同で銚子商品開発になるように進めてきました。来年度にかけて実証して進めていくことで合意し、淑徳大学と銚子商業高等学校で協定を締結する方向になりました。

今後について

これからの具体的な提案：今回6つの事業プランを実施してきた。これらの事業プログラムが軌道に乗るためのサポートが必要だと考える。そこで、地元民間を中心に事業者や起業家、市民や学生などを銚子地方創生プロジェクト（仮称）として、プロジェクトを速やかに組成します。

これらは若手を中心としたプロジェクトとして、次世代を作るのは若者であり、大人たちに遠慮することなく、主役は若者であるということを目内のみなさんの共通認識になるだけの実績、本気が伝わるプロジェクトにしていきたくて考えております。それぞれのワークに分けて、主に①観光、②まちづくり ③ふるさと納税 ④起業家育成 ⑤移住定住 ⑥教育など実行したいと考えております。

また銚子発のプログラムや関わる人々が増えることで、銚子との深いネットワークが形成され、それぞれの事業のブラッシュアップ、提携事業へ繋がると考えられる。また充実したプログラム（市民参加型のワークショップ、セミナーや発表会の開催）を継続することで、市民や関係者の方々も「銚子市で身近に関われるんだ（充実したサポートがある）」という機運醸成につなげていけるのではないかと。また、コロナ禍から、地方へのリビングシフトが急速に進んでいる。さらにビジネスだけでなくレジャーも都心から地方に人の流れが進みだしている。地方で起業をすることが「チャンス」の時代だ。以上の観点から、「銚子地方創生プロジェクト」のプログラムを継続・充実していくことが重要と考える。

具体的には、①起業セミナーの実施、②地元ワカモノ（高校との連携）で起業体験プログラムの実施（銚子市のイベントにつなげる）、③既存事業者・起業家向けサポート、④「JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子」の開催 ⑤JAPAN CHALLENGER AWARD チャレンジャーの事業プランを実行するイベントの開催を実現する。

また、筆者は、自身が代表理事を務める公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトのメインプログラムである昨年10月に開催した「いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021」にて、銚子市のメンバーが見事グランプリを獲得したことにより、事業サポートを継続して進めているが、今年度も実施する予定。銚子市の起業家がさらに参加いただけるよう働きかけていきたい。

最後に、銚子市民の課題に高齢者へのサポートや貧困世帯への課題とも向き合うことこそ、公民連携事業である。SDGsやソーシャルビジネスなどを意識した起業家をこの銚子から輩出して、市民の課題解決になるような事業プランも応援していきたい。

以上